

第15回 さんぽを楽しむ会 ～東海道・品川宿コース～ 実施報告

11月18日、旭川東高等学校東京同窓会第15回「さんぽを楽しむ会」は、「東海道・品川宿」コースを実施しました。参加者は東高7期から27期までの総勢17名でした。当日は雨が心配されましたが、さんぽ中は降られませんでした。今回も第3回より続いてわかりやすい説明が好評の郷土史家渡辺功一さんにご案内をお願いしました。



出発点の北品川駅は道路際

午前10時15分に京浜急行北品川駅に集合。さっそく土蔵相模跡へ。現在はビルが建っていますが、幕末には高杉晋作や日下玄瑞らの攘夷派の定宿でした。旅籠というよりは大きな妓楼の



土蔵相模跡
往時の面影は無い…



旧東海道 今は静けさが漂う

ようなところだったようで、外壁が土蔵のような海鼠壁であったからの名称と、渡辺さんからの説明がありました。旧街道沿いの商店街を通り、御殿山下砲台（台場）跡へ。



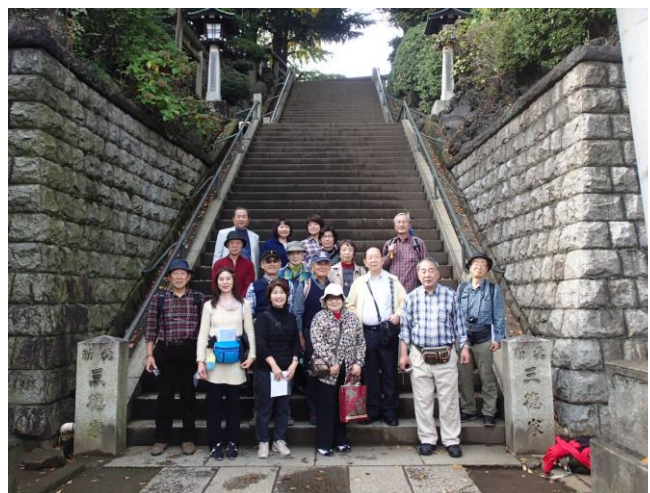
御殿山下砲台(台場)跡地
埋立で海は遙か遠くに



品川本陣往時の様子を説明する路面の絵タイル

今は埋め立てにより海から離れ、台場小学校・幼稚園となっています。海岸の石垣の名残を見ながら品川本陣跡へ。参勤交代の大名の宿泊・休息所としてに

ぎわった本陣は、明治維新後、明治天皇の行在所となったことに因み、聖蹟公園となりました。今では近くの保育園の園児たちの遊び場となっています。商店街を進み富士塚のある品川神社へ。階段を登ってのお参りはやめて集合写真撮影。さらに山手通りを進み東海寺へ。東海寺



品川神社の段数の多い石段の下で
社殿は石段頂上を更に上へ登った所にあるそうだ…

は沢庵和尚を開山として三代将軍家光が創建した禅寺です。かつての広大な境内にはビルやマン

ションが建ち並んでいます。この日も周辺の工事で境内には入ることはできませんでした。少し離れた東海寺大墓地向かいました。ここは、新幹線と在来線に



鉄道の父と呼ばれる 井上 勝 の墓所
背後を新幹線が行き交う 最高の夢枕！



すぐ隣には周囲に異彩を放つ名歌手島倉千代子のモダンな墓碑！

囲まれ、鉄道の父と呼ばれた井上勝のほか沢庵和尚、賀茂真淵などの歴史上の人物が眠っています。また、地元出身の歌手島倉千代子の墓の後ろにはカラタチが植えてありました。再び旧東海道沿いにもどり、荏原神社を見ながら目黒川に架かる品川橋を渡り、東海道松の広場で小休止。



品川宿問屋場貫目改所跡地は簡素な説明板だけ

南品川にある品川宿問屋場貫目改所跡地へ。ジョージ秋山氏の「浮浪雲」の舞台になったそうですが、今はビルの角に看板があるのみです。

旧街道を進み、次は品川寺（ほんせんじ）へ。ここには数奇な運命を辿った「洋行帰りの鐘」があります。幕末のパリ万博に出品された後に



品川寺の梵鐘「洋行帰りの鐘」

行方不明となり、保管先のスイス・ジュネーヴ市のアリアナ美術館から、昭和5年に里帰りしたというものです。これにちな

み青物横丁駅前通りは「ジュネーヴ平和通り」と呼ばれています。島倉千代子の「人生いろいろ」の駅メロディが流れる青物横丁駅から、京浜急行に乗って立会川駅へ移動。

ここには坂本龍馬像があります。桂浜の龍馬は靴を履いていますが、この龍馬は草履履きです。またここで記念撮影。駅名となった立会川には、浜川橋が架かっています。この橋は別名



「ジュネーヴ平和通り」を行く



珍しい草履履き姿の坂本龍馬銅像を背に明治維新の立役者に敬意を表しつつ

なみだ橋といい、この先の鈴ヶ森刑場で処刑される罪人とその家族が最後の別れをした場所とい

われています。立会川に沿って海に向かったところには浜



別名“なみだ橋”の袂から鈴ヶ森刑場跡地を望む

川砲台跡があるという渡辺さんの説明で、さんぽの方は一旦終了、昼食会場の品川へ

再び京浜急行で移動しました。

今回の昼食会場は「目利の銀次」です。ここは24時間営業の居酒屋で、近況報告などで談笑し、朝比奈幹事が厳選したメニューで食事とアルコールを満喫しました。



昼食処は居酒屋「目利の銀次」です



食事の間に名案内役渡辺さんのお話に聴き入る！

今回は約1万歩のさんぽで楽しいひと時を過ごしました。品川の街角に江戸の歴史が潜んでいることを教えてくださる渡辺さんに、改めて感謝します。次回のさんぽの会は、来春5月の予定です。多くの皆様の参加をお待ちしております。(27期 砂澤祐子記、編集は18期 徳田)